

とてっぽ

学校教育目標

十勝野に立ち 不屈を目指す

たくましい人間 自ら学ぶ人間 心豊かな人間



学校 HP

帯広市立川西中学校

学校便り

第10号

令和6年12月11日

校長 村上達也

学校評価アンケート等の結果から

校長 村上達也

「学校評価アンケート」へのご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様の率直なご意見は、学校の組織的・継続的な改善や、生徒にとってより良い教育環境を整えるためにたいへん重要な情報でした。同時期に全校生徒にも「生徒アンケート」を実施しましたので、それらの結果の概要をお知らせします。

評価が高い項目（80%以上）の主なもの

[生徒]

- ・身近に尊敬できる人がいると思う。
- ・ありのままの自分で良いと思う。
- ・自分は他の人の失敗を許せる方だと思う。
- ・自分は周りの人たちに助けられていると思う。
- ・友人関係に満足している
- ・先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところをわかるまで教えてくれる。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる

[保護者]

- ・元気に学校に通っている。
- ・(子どもに) 困っている人がいたら助けるなど、温かい心、思いやる心が育ってきている。
- ・規則や社会のルールを積極的に守ろうとする態度が育ってきている。
- ・家庭で、お子さん自身の考えや行動を認めたり、ほめたりしている。
- ・学校行事や参観日には、積極的に参加・出席している。
- ・先生方を信頼して、話や相談をすることができる。
- ・(家庭で) 学校や将来のことについて話す機会を持っている。
- ・学校は生徒や家庭をよく理解して、親身になって対応している。
- ・学校だよりや学級通信は、学校の方針や様子がよくわかる内容になっている。

評価が低い項目（70%以下）の主なもの

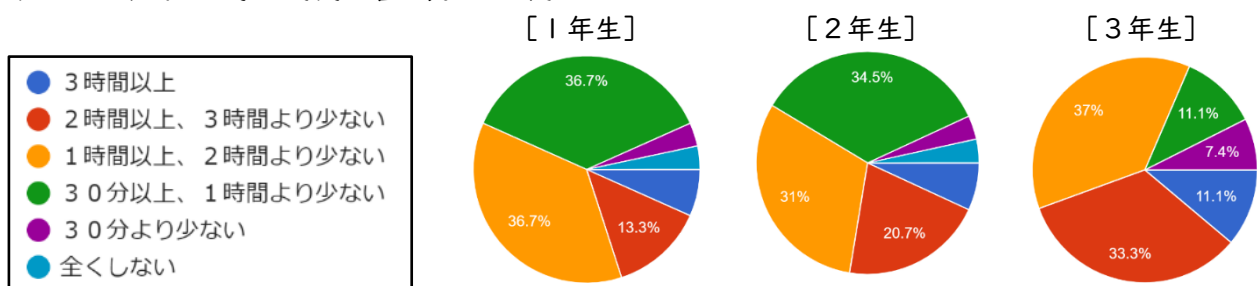
[生徒]

- ・自分は誰かの役に立っていると思う。
- ・不安な気持ちを持たずに他の人と話すことができると思う。
- ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人たちにいつでも相談できる。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している

[保護者]

- ・(子どもは) 学習の内容をしっかりと理解して、身につけている。
- ・(子どもは) 家庭学習の習慣が身につけている。
- ・(子どもは) 学校の授業についてわかりやすいと言っている。

[家庭学習習慣の状況] 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。※生徒アンケートより



【分析・今後の方策】

生徒自身の「周囲に助けられている」「友人関係に満足している」の評価が高いことに関しては、授業をはじめ、特別活動や総合的な学習の時間等における「学校内外の方との関わり」「異年齢交流」等の実践が、他者の個性や多様性を認める風土の育成に成果として表れていると考えられます。一方で、「自分は誰かの役に立っている」「不安な気持ちを持たずに他の人と話すことができると思う」の評価が低い等、自己肯定感や自己有用感の育成には課題が見られます。各教科の授業や日常の学校生活の場面において、互いの良さを認める活動を意図的に設定する等の実践に今後も継続的に取り組みます。「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人たちにいつでも相談できる」の評価が低いことから、安心・安全な学校づくり、学校があたたかくて寛容な場所となるよう学校風土の改善にも努めます。保護者アンケートからご指摘いただいている学習面の充実については、わかりやすい授業への授業改善（個別最適な学びと協働的な学び）、基礎・基本の確実な定着を図る授業づくりの実践と、主体的な学習（家庭学習等）につなげる「とてばタイム」「スーパーとてばタイム」の質の向上により充実を図ります。ご理解いただいている通り、学校は単なる知識の拠点ではなく、生徒たちが心身ともに成長し、社会で活躍できる力を養う場であるべきです。これらの結果をもとに、改善点や強化すべき点を明確にし、今後の方針や教育活動に反映させて参ります。

また、保護者アンケートの記述欄に、「数年前まであった川西中学校の良さが、なくなってしまっただけだ」というご指摘をいただきました。学校経営への大切なお助言と思っておりますので、ご来校の際やお電話等でも、詳しくお話いただけたらと思います。素直に受け止めたいと思います。

なお、今回は川西小学校と連携し、同時期に同内容のアンケートを実施しました。9年間の系統性を考慮した教育活動推進に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

令和6年度 エリア公開研究発表会開催



公開授業（家庭科）



公開授業（英語科）

川西エリアでは、「ふるさとを愛し、心豊かに、たくましく生きる川西の子ども」を目指す子ども像として、9年間の連続性・系統性ある教育活動の推進を目指しており、令和5年より、帯広市小中一貫教育推進基本方針に基づき、川西小中連携による隔年交互開催の「エリア公開研究発表会」を開始しました。今年度は、11月27日（水）に本校において標記研究発表会を開催し、川西小学校の先生方をはじめ、帯広市内外の多くの先生に参加をいただき、授業や小中連携について、協議を深めることができました。本校では、「自らの考えを持ち、他者と協働して理解を深める生徒」を目指す学びの姿と位置づけ、令和5年度より継続して「主体的に考え、対話や協働を通じて表現する力の育成」を研究主題に設定しています。今年度は、「考える基礎を培う課題の工夫」にフォーカスし、表現力・記述力の向上に全教科で取り組み学習面の充実にも努めています。家庭科と英語科の授業を公開し、分科会において授業の成果や課題、疑問点をテーマに沿って意見を交流しました。「生徒たちが生き生きと意見交流していた。根拠をもとに話し合う様子や品質表示を見比べて自分の考えをまとめている様子から、本時の課題に向かって自主的に学ぶ姿が見られた」「オールイングリッシュに近い授業で、生徒たちの

様子から指示が伝わっていることがわかった」「グループで相談しながら課題を解決しようとしていたが、苦手な生徒に対しての手立てがあると良かった」「学習した内容を使って生徒が英語でやり取りをしている場面をもう少し見たかった」等の授業への助言・感想等をいただきました。ご参会いただいた皆様方のご指導・ご助言を今後の研修に生かし、さらに充実を図って参りたいと考えております。



分科会（家庭科）

中学校の3年間は、自分の心と頭と体を精一杯使って、「本当の楽しさ」を知る大切な時間
R6年度 目指す姿：Well-being 帯広かわにし「自立・貢献」 重点目標：川西中らしい成長ストーリーの創造